



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレタ - No.117

2008年4月

東アジア大会を主催 !

コルネリオ会会長 今市 宗雄

2010年軍人キリスト者の会東アジア大会をコルネリオ会が主催するに当りまして、その概要を御理解頂き、会員が挙げて主の栄光を現す好機と捉えて下さることを祈っています。

大会構成のポイントは、所要経費を原則全額参加者負担とし、成田空港に近く送迎に便利なホテルを会場に選定して少人数の管理要員でも運営可能にしたこと、土・日を使い現役の参加を容易にしたこと、家族を含む会員の参加費は、献金をもって積立てる事にしたこと、日程をコンパクトにしたことです。

1 大会の目的

神を共に礼拝し、キリストイエスにあって私達が一つであることの喜びを分かち合い、そして我々軍人(自衛隊員)同僚に福音を伝道することにあります。

2 本大会のモットー

「沖へ出でよ!」(ルカ 5:4)です。

主からの命令・指示を先行させる生きた信仰を持たせ給え。

3 時期・場所

(1) 2010年9月3日(金) - 5日(日)間

大会日程表参照

(2) マロウドインターナショナルホテル成田

HomePage: <http://www.marroad.jp/>

ホテルの無料シャトルバスが、JR・京成空港第2ビル駅(27番乗場)又はJR・成田空港駅(16番乗場)とホテル間を30分間隔で運行されています。(所要 約10分)

4 主催・後援

(1) 主催: コルネリオ会

(JMCF: Japan Military Christian Fellowship)

(2) 後援: 軍人キリスト者の会

(AMCF: Association of Military Christian Fellowships) (ACCTS) 日本自衛隊宣教会

5 予定参加者数

韓国60、台湾40、モンゴル5、米国8、日本37、計150名

当会としては、これ以上を期待しています。

6 使用言語

日本語、韓国語、中国語、英語の4言語同時通訳を設営します。

7 参加費

大人一人35,000円とし、家族分を含み献金の累計をもって当てます。

参加費を含む場合は、振込み用紙に、その旨を明記して下さい。

8 援助金

主催者側より、モンゴルからの参加者と米本国からのACCTSへ各200,000円を支援し、かつ参加費は請求しないものとします。

経費見積参照

9 連絡先

jmcfusa@gmail.com 中野久永(コルネリオ会副会長)です。

以上ですが、最後に献金と新入会員の拡充を切にお祈り致します!

[追記]

コルネリオ会月例会を、第二土曜日の14時からJR高田馬場駅戸山口から7分程の新宿区大久保3-10-1 マルエツビル2F 集会所で実施しています。

2008年度コルネリオ会総会を、マロウドインターナショナルホテル成田で6月14日(土) 11時~15時の間に開催します。

大会日程表

2010 AMCF 東アジア大会 日程表			
	9月3日 (金)	9月4日 (土)	9月5日 (日)
0600-0730	朝食		
0800-0900	チェック イン	講演()	礼 拝
0900-0930		休 憩	
0930-1030		講演()	討議結果の 発 表
1030-1100		休 憩	
1100-1200		講演()	証 し 東アジア 会長挨拶
1200-1300		昼食・移動	歓送 昼食会
1300-1400		宇宙センタ ー見学又は ショッピング	チェック アウト
1400-1600			
1600-1730		移 動	
1800-1900		歓迎夕食会	夕 食
1930-2100	AMCF 会長挨拶 各国報告	グループ 討議 4個グループ	

経費見積

	内容	単価	数量	日	金額
宿泊	ツイン朝食付	6,800	146	2	1,985,600
	DeLuxe T.朝食付	10,100	4	2	80,800
	小 計				2,066,400
食事	会食(ドリンク付)	2,500	148	2	740,000
	昼食(弁当)	1,500	150	1	225,000
	夕食	2,500	148	1	370,000
	小 計				1,335,000
付帯	会場費	150,000	1		150,000
	エレクトーン	21,000	1		21,000
	プロジェクター	21,000	1		21,000
	吊看板の作製	24,150	1		24,150
	コーヒ紅茶メーカ	60,000			60,000
	バス(筑波宇宙研) (ショッピング)	75,000	2		150,000
		18,500	1		18,500
	通訳セット	4,700+	110	3	530,000
	小 計				974,650
	合 計				4,376,050

ア 収入 参加費から 35,000円×130名=4,550,000円
 コルネリオ会から 1,300,000円
 合 計 5,850,000円
 イ 支出 ホテルへ 476,050円
 援助：モンゴルとACCTSへ
 40,000円×5名×2=400,000円
 通訳と牧師 50,000円×3名×2=300,000円
 司会・賛美スタッフ 50,000円×4名=200,000円
 印刷製本代、教材費 300,000円
 事務費、予備 273,950円
 合 計 5,850,000円

聖書に学ぶリーダーシップ(その7); 具体例編

- サーヴァントリーダーシップ -

コルネリオ会会員 伊藤忠臣

クリスチャンは受洗時「私の主はイエスキリストです」と誓った瞬間〔信仰告白〕から「永遠の命」をコミットされ、受洗者はこの世にいる限り「愛の掟」の実行をコミットしました。リーダーとして「愛(アカベ-)」がなす行為の概念はその6(ニュースレターNo.113)で述べましたので、続編としてリーダーが日常遭遇する事象への愛がなすべき具体的な行為を例示します。

1. 忍耐;〔逆境の局面における〕自制を示す事

リーダーとしての私たちの仕事には〔以下リーダーとは記述〕組織の各部署で設定された基準〔訓練基準や年度錬度目標〕と各構成部隊(員)の実際の出来ばえの間にあるギャップをみて是正指導することがあります、その手段は感情的な行為ではなく愛がなせる行為が要求されます。

〔具体例-1〕

新隊員教育修了式に列席するかつての先生方が口にする言葉は、「あの子が短期間〔10週間〕で良く此

処まで成長するとは・・・」との感嘆です。自衛隊では、特に基本訓練では明確に到達基準が示され、卒業するにはその基準に合格する必要があります。従って教官、助教やその補佐は結節（一科目）終了時に、各人の錬度が基準に未到達であれば次の課目に進む前の余暇を活用して補修を実施します。その際の鉄則は「やって見せ、言って聞かせて やらせてみて 褒めてやらねば 人は動かず」を徹底実行し、そこには鉄拳や罵倒ではなく補修者を応援しようとして外出を控えた同僚たちが、「頑張れ」と声援や。見かねて自分も同じ行動をとるといった、補修生をなんとか合格の域に引っ張り上げようとする同期生愛が本人を鼓舞します、部下が自分の行動に責任を持つように育て上げる指導陣の自制が利いた指導と同期生愛の雰囲気、自ずと成果となり人格形成や使命の自覚に発展していくわけです。『自利は他利なり』他人のことを利する為に働く事は結局自分の指導力や本人の信頼につながります。

「具体例 2」

私の体験です。広大な演習場を戦車、大砲等々、全

ての装備品を使用する年度の訓練錬度を判定する検閲時に受閲中の隊員が重要物を紛失しました。気が付いてから数時間たった夕刻報告を受けました。指導陣と訓練部隊の主要な者の捜索のための会議の間、私は約1時間一人で熟慮しました。‘捜索する一人一人が責任を持って自分の持ち場を這いつくばって集中できる限度は2時間’と結論しました。私が指示した事は『部隊が所定の位置についてから2時間、這って手探りで徹底して探せ、各人自分の前から出ると確信して実行せよ』『2時間で発見できない場合は撤収し就寝せよ。明日から見つかるまで何日でも探す』

全ての責任は私にあると腹をくくると、暗夜では、当面数千人の隊員のやる気を2時間に結集させる以外解決策はありません。陽が上がると望外の心理状態が生じた多々制約が出てきます。私には予感が働き自信がありました。それは隊員を心から信用していたから「必ず出る」との確信があったのです。1時間40分後『発見』の報告がありました。

中国訪問記（その2）

コルネリオ会会員 滝口 巖太郎

長沙は毛沢東の出身地で、この街には巨大な毛沢東像があります。この像の近くに、麓岳書院という中国古代の官立大学があります。また、この近くに湖南大学もあります。湖南大学は学生数3万人という巨大大学です。

湖南大学外国語学部日本語科の学生と少し話をする機会がありました。学習言語の選択は、学生が自由に選べるものではありません。学生の成績によっては、学校側から学習言語を指定される場合もあるそうです。一番人気の高い英語科には、湖南省出身者が多いようでした。この学部には外国からの留学生も居ました。「ここに韓国人はいますか？」と韓国語で聞いてみたら何人か居ました。皆、明るい表情でした。

休み時間に日本語科のクラスの学生と庭に出て話をしました。このクラスは「外国語初級クラス」で、学生達は未だ上手に日本語を話すことは出来ませんでした。でも、学生達は私と話が出来たことを大変喜んで

いました。彼らは授業開始の時間が来ると名残惜しそうに手を振って行きました。

湖南大学から少し離れた所に、100年ほど前にドイツ人が建てた聾啞盲養護学校があります。私は聾学校の生徒と話をする機会がありました。「日本の人がこんなに私たちの事を思ってくれてるとは思わなかった」と多く生徒が指話で言っていました。

指話で「日本」は、腕を前に出し三角を作り上を少し空けます。指話で「ドイツ」は、頭の上に拳を乗せ指を立てます。これは国際共通語です。何をイメージしているか考えてみて下さい。

話は突然変わりますが、感覚的には、物価は9年前よりも安いように思いました。北京と地方の差はあまり感じませんでした。もちろん、北京は大都市ですからタクシー初乗り2.00元、地方都市長沙では1.80元ぐらいの差があります。

中国へ来た最初の日に慕田裕長城へ行きました。長

城の麓で、敦煌で買ったTシャツよりもしっかりしたものを「ワンダラー・ワンダラー」と言って売っていました。「ワンダラーとは1中国元か？」と聞いたら、怒ったように「10中国元だ」と答えました。

先に書いた麓岳書院に、2500年前の王様の墓から掘り出した銅製の鐘が50個くらいあります。この銅鐘と、複製した石琴・21弦琴・笙・箏を使っ、4人の演奏家が合奏してくれます。聴衆の数とは関係なく一曲30元~40元です。「これは安すぎる、気の毒だ」と思ってCDを買いました。こちらは200円で日本並のお値段でした。

道路はどんどん整備され、9年前にくらべると、現在の中国は完全に車社会です。大都市は車で溢れています。人道も横断歩道にも「安全地帯」などはありません。人間よりも車の方がえらいのです。車が来てあわてて走るの日本から来た人だけです。車道にも人間が歩いていて、中国人は車が来るのが見えると早くから止まって動きません。

タクシーに乗っている時、信号が赤なのに右折したので、運転手に「こんな場合、右折しても良いのか？」と聞いてみました。すると運転手は、「中国で交通規則を知っているのは警察官だけだ」と答えました。

これに関連した話題ですが、中国人は「交通規則が人命を守ってくれる」とは頭から考えていません。「命は自分で守るものだ」と信じているのです。その点、日本人は訓練が足りません。中国の交通事情に慣れていない同行の日本人女性を何度引き止めねばならなかったか私には記憶がない位でした。

もちろん、何度も交通事故を見かけました。そんな時でも、中国人はパトカーを呼ぶような馬鹿はしません。パトカーを呼ぶと、事故の費用以外に余計なペナルティーがかかるからです。

オリンピックを目指して市内にも郊外にも植樹が進んでいます。何分やつつけ仕事ですから、大きな木の根はしっかりと張っていません。ですから、少しの風ですぐ倒木になります。パトカーはこういう時に交通整理のために呼ばれるのです。

ドイツ人達は車は持っていません。子供たちの送迎にはタクシーを使います。中国人の運転は乱暴なので、自分が運転していて事故にまきこまれるのを避けるの

が第一の理由、中国ではタクシー代が安いのが第二の理由です。

母親の話では、長沙で娘を教育している間に、彼女の夫は別の女を作ってしまったとの事でした。その利口そうな娘さんは、耳が不自由なのですが、来年から普通の小学校に上られるという話でした。娘さんもお母さんも表情は暗くはありませんでした。

少し話題はそれますが、今や胎児の段階で視覚聴覚障害児は判別出来るのだそうです。そして、障害児教育施設では、それぞれの児童の将来を考えた職業教育が施されているようです。ためしに、私は盲学校の男子生徒にマッサージをしてもらいました。私は一昨年左肩を打撲しました。自分では完治したとっていたので何も言わなかったのですが、マッサージをしてくれた生徒には悪い箇所が直ぐわかったようでした。

盲人の場合は卒業後の生活に不安は無いとのことでした。けれども、難聴者には良い就職がなかなか無いと言う話です。幼児からの養護教育などは、今回見たかぎりでは日本よりも進んでいるようです。しかし、そうした立派な養護教育施設の恩恵にあずかれる人の数はごく限られているようだと思います。

「陰の声」:「日本」は富士山、「ドイツ」はプロイセンのヘルメットです。

(次回に続く)

献金感謝 (2007.7.28-2009.3.23)

いつもコルネリオ会を覚えていただき感謝致します。
谷岡博志、山下和雄、吉田好里・美枝子、
矢田部稔・和子、大久保真道、玉井佐源太、
足立順二郎、広田具之、MEAK(韓国)、伊藤忠臣、
桧原菜都子、加瀬典文、新屋徳治、武宮啓夫、
松山曉賢、今市宗雄、圓林栄喜・さゆり、加瀬信吾、
河内俊介、長尾有二、花井米男、石川信隆

コルネリオ会 (JMCF)
(防衛関係キリスト者の会)
コルネリオ会広報室
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 5-33-8 2-33
電子メール: hidenobu-sayuri_enrin1211@y3.dion.ne.jp
郵便振込口座 00130-3-87577 コルネリオ会
コルネリオ会ホームページ:
<http://jmcf.s302.xrea.com/english/indexeng.html>